

II がん罹患数及び罹患率

1. 罹患数、粗罹患率、年齢調整罹患率及び罹患割合（主要部位別、男女別）

2012 年のがん罹患数、粗罹患率及び年齢調整罹患率、罹患割合を、主要部位別、男女別に示した（表 2）。

全がん罹患数は、男 8,410、女 6,121、計 14,531 人であった。人口 10 万人当たりの粗罹患率は男 905.4、女 607.4、日本人モデル人口による年齢調整罹患率は、男 477.9、女 342.4 であった。

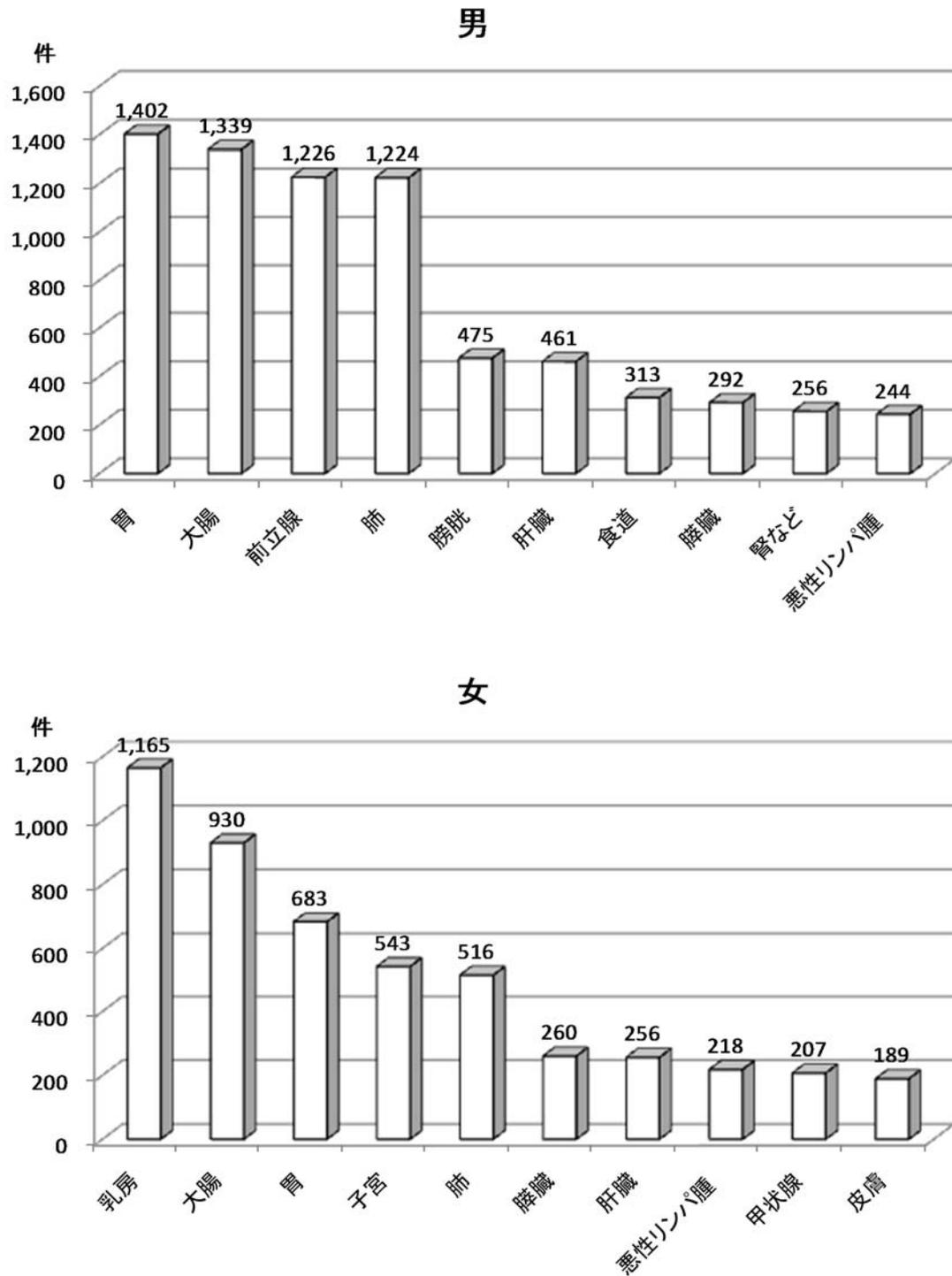
男については粗罹患率の 1 位は胃、2 位は大腸（以下、大腸とは結腸と直腸を合わせた症例とする）、年齢調整罹患率の 1 位は大腸、2 位は胃となっており、消化器系のがんの罹患率が高くなっている。

女については粗罹患率、年齢調整罹患率ともに乳房が 1 位、2 位は粗罹患率では大腸、年齢調整罹患率では子宮となっており、女性特有のがんの罹患率が高くなっている。

部位	罹患数			粗罹患率 (人口10万対)		年齢調整罹患率 日本人人口 ^(*)		罹患割合 (部位/全部位)	
	男	女	計	男	女	男	女	男	女
								男	女
全部位	8,410	6,121	14,531	905.4	607.4	477.9	342.4	100.0%	100.0%
口腔・咽頭	173	83	256	18.6	8.2	11.7	4.9	2.1%	1.4%
食道	313	73	386	33.7	7.2	18.4	3.6	3.7%	1.2%
胃	1,402	683	2,085	150.9	67.8	78.8	29.1	16.7%	11.2%
大腸	1,339	930	2,269	144.2	92.3	80.1	43.5	15.9%	15.2%
┌ 結腸	814	632	1,446	87.6	62.7	47.4	27.5	9.7%	10.3%
└ 直腸	525	298	823	56.5	29.6	32.7	16.0	6.2%	4.9%
肝臓	461	256	717	49.6	25.4	24.7	9.5	5.5%	4.2%
胆嚢・胆管	171	176	347	18.4	17.5	8.1	4.9	2.0%	2.9%
膵臓	292	260	552	31.4	25.8	15.9	9.1	3.5%	4.2%
喉頭	76	2	78	8.2	0.2	4.3	0.1	0.9%	0.0%
肺	1,224	516	1,740	131.8	51.2	64.3	22.7	14.6%	8.4%
皮膚 ^(*)	173	189	362	18.6	18.8	8.5	6.4	2.1%	3.1%
乳房	7	1,165	1,172	0.8	115.6	0.6	86.4	0.1%	19.0%
子宮	-	543	543	-	53.9	-	52.2	-	8.9%
卵巣	-	131	131	-	13.0	-	9.6	-	2.1%
前立腺	1,226	-	1,226	132.0	-	64.6	-	14.6%	-
腎など	256	142	398	27.6	14.1	15.4	6.9	3.0%	2.3%
膀胱	475	143	618	51.1	14.2	25.1	5.4	5.6%	2.3%
脳・神経系	98	112	210	10.6	11.1	7.7	6.6	1.2%	1.8%
甲状腺	60	207	267	6.5	20.5	5.0	15.7	0.7%	3.4%
悪性リンパ腫	244	218	462	26.3	21.6	15.2	10.7	2.9%	3.6%
多発性骨髄腫	53	32	85	5.7	3.2	2.9	1.5	0.6%	0.5%
白血病	79	66	145	8.5	6.5	6.4	4.5	0.9%	1.1%
日本人人口 ^(*) : 1985年日本人モデル人口									
皮膚 ^(*) : 皮膚の黒色腫を含む									

2012年における罹患数上位10部位を男女別にグラフで示した（図2）。

図2 部位別罹患数 2012年（上位10部位）



2. 岡山県と全国の罹患率の比較（主要部位別、男女別）

年齢調整罹患率を岡山県（2012年、2011年値）と全国（2011年推計値）で対比した（表3、図3、4）。

2011年の岡山県の年齢調整罹患率を全国の値（日本人モデル人口）と比較すると、全部位では男は1.01、女は1.07と男女とも全国値を上回っている。

また男では脳・神経系（1.88）、膀胱（1.74）、女では脳・神経系（2.78）、子宮（1.63）、膀胱（1.59）などが全国値に比べ高かった。

	年齢調整罹患率							
	男			女			岡山/全国 ^{(*)2}	
	岡山 2012	岡山 2011	全国 ^{(*)2} 2011	岡山 2012	岡山 2011	全国 ^{(*)2} 2011	男 2011	女 2011
全部位	477.9	454.3	449.0	342.4	328.1	305.5	1.01	1.07
口腔・咽頭	11.7	12.3	10.9	4.9	4.3	3.9	1.13	1.11
食道	18.4	18.3	18.2	3.6	2.6	2.6	1.01	0.99
胃	78.8	74.6	80.4	29.1	26.7	29.5	0.93	0.91
大腸	80.1	76.3	67.2	43.5	43.3	38.3	1.14	1.13
{ 結腸	47.4	45.1	39.7	27.5	28.4	26.5	1.14	1.07
{ 直腸	32.7	31.2	27.4	16.0	14.8	11.8	1.14	1.26
肝臓	24.7	25.3	26.1	9.5	9.0	9.0	0.97	1.00
胆嚢・胆管	8.1	7.9	10.0	4.9	5.2	6.0	0.79	0.87
膵臓	15.9	14.1	15.3	9.1	9.3	10.0	0.92	0.93
喉頭	4.3	3.8	3.7	0.1	0.4	0.3	1.02	1.43
肺	64.3	61.7	64.6	22.7	22.2	25.9	0.96	0.86
皮膚 ^{(*)3}	8.5	8.1	7.8	6.4	6.3	5.5	1.04	1.14
乳房	0.6	0.8	0.5	86.4	77.7	82.2	1.62	0.95
子宮	-	-	-	52.2	53.2	32.7	-	1.63
卵巣	-	-	-	9.6	9.7	10.6	-	0.92
前立腺	64.6	57.8	66.8	-	-	-	0.87	-
腎など	15.4	15.0	15.5	6.9	5.8	5.2	0.96	1.12
膀胱	25.1	22.4	12.9	5.4	4.4	2.8	1.74	1.59
脳・神経系	7.7	5.4	2.9	6.6	6.4	2.3	1.88	2.78
甲状腺	5.0	5.8	4.2	15.7	12.1	12.3	1.37	0.99
悪性リンパ腫	15.2	14.7	13.9	10.7	10.4	9.2	1.05	1.13
多発性骨髄腫	2.9	2.2	3.0	1.5	2.3	2.4	0.73	0.97
白血病	6.4	6.0	8.0	4.5	4.2	5.3	0.75	0.79
日本人人口 ^{(*)1} : 1985年日本人モデル人口								
全国 ^{(*)2} : 厚生省がん研究助成金による「地域がん登録」研究班が10府県市の成績から推計した最新値								
皮膚 ^{(*)3} : 皮膚の黒色腫を含む								

図3 年齢調整罹患率2011年(男)

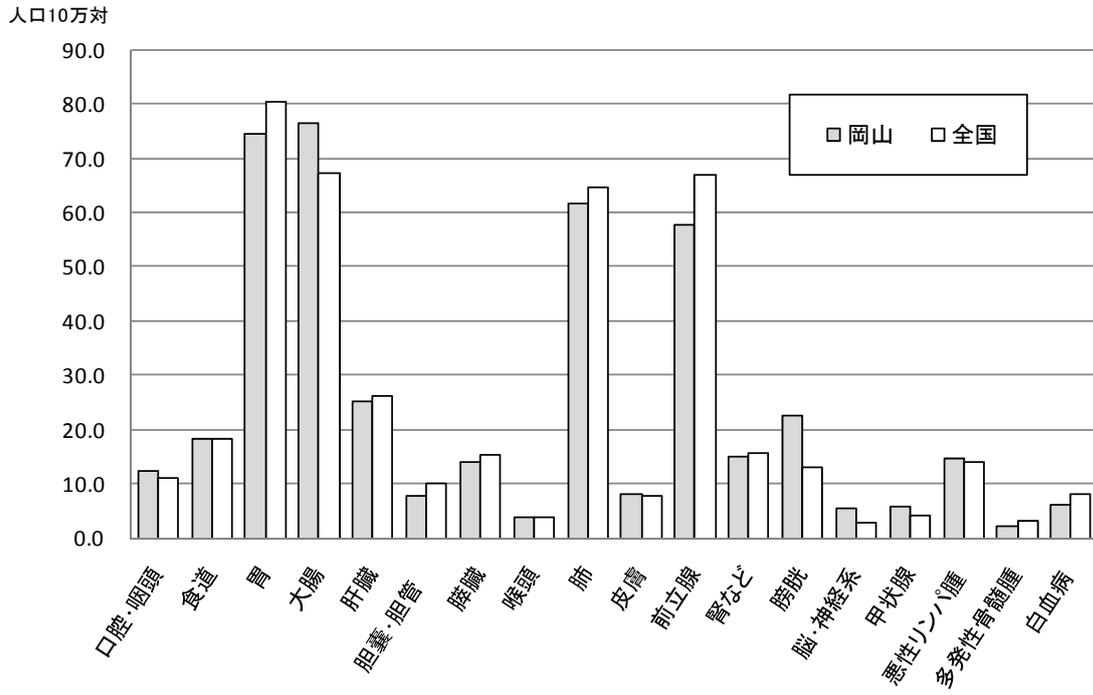


図4 年齢調整罹患率2011年(女)

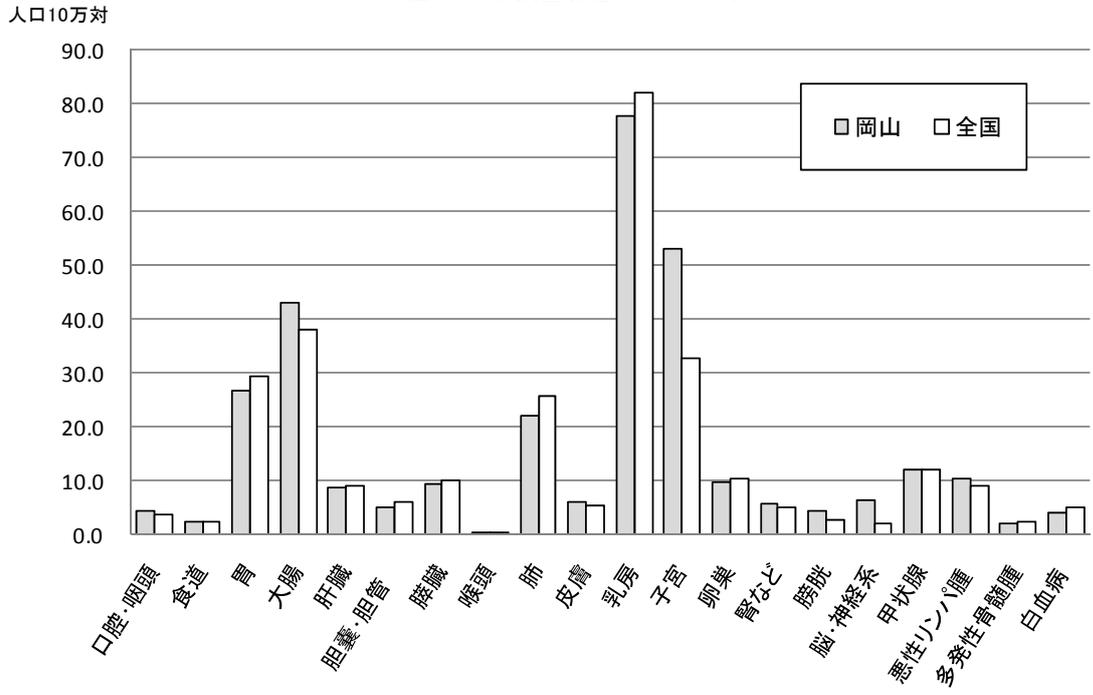
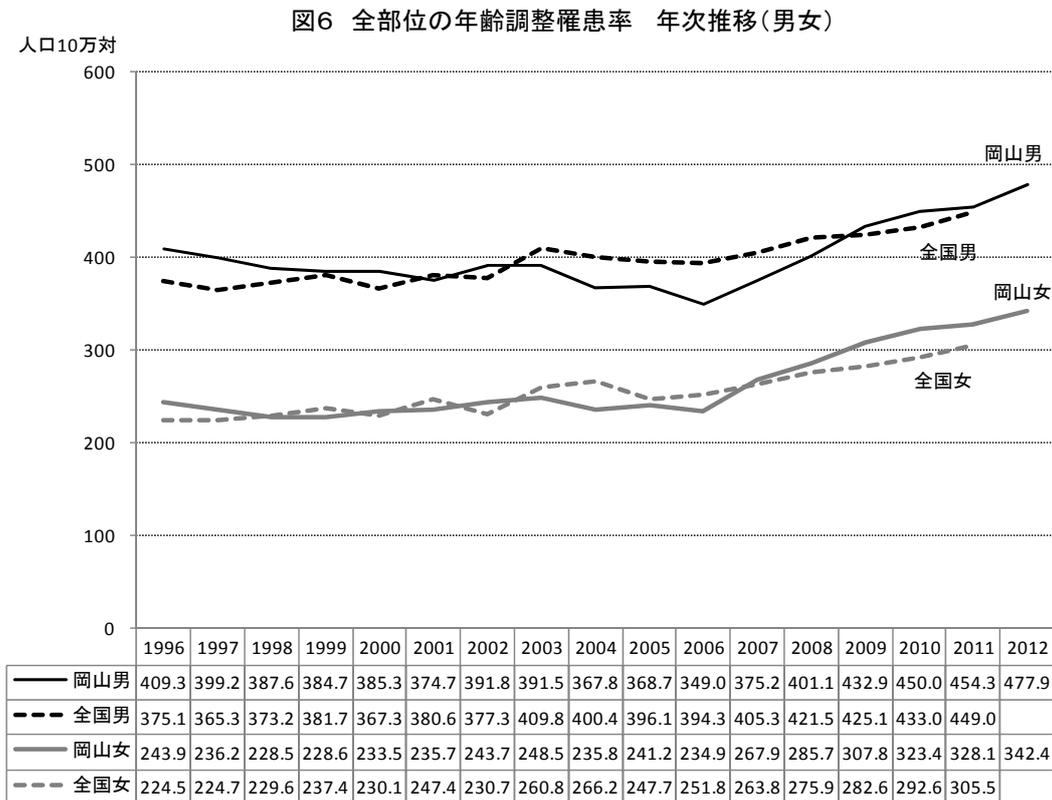
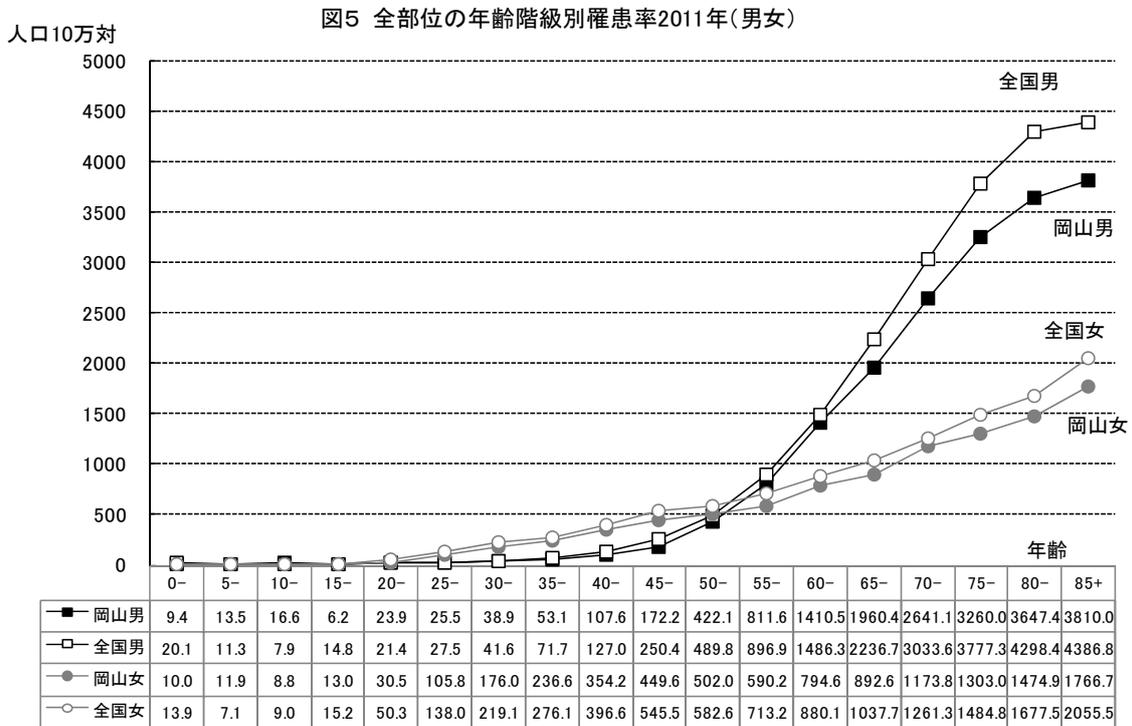


図5に岡山県の全部位の5歳年齢階級別・性別罹患率のグラフを2011年全国推計値とともに示した。

図6に全部位の年齢調整罹患率（標準人口：1985年日本人モデル人口）の1996年～2012年の年次推移を男女別に全国値（1996年～2011年推計値）とともに示した。

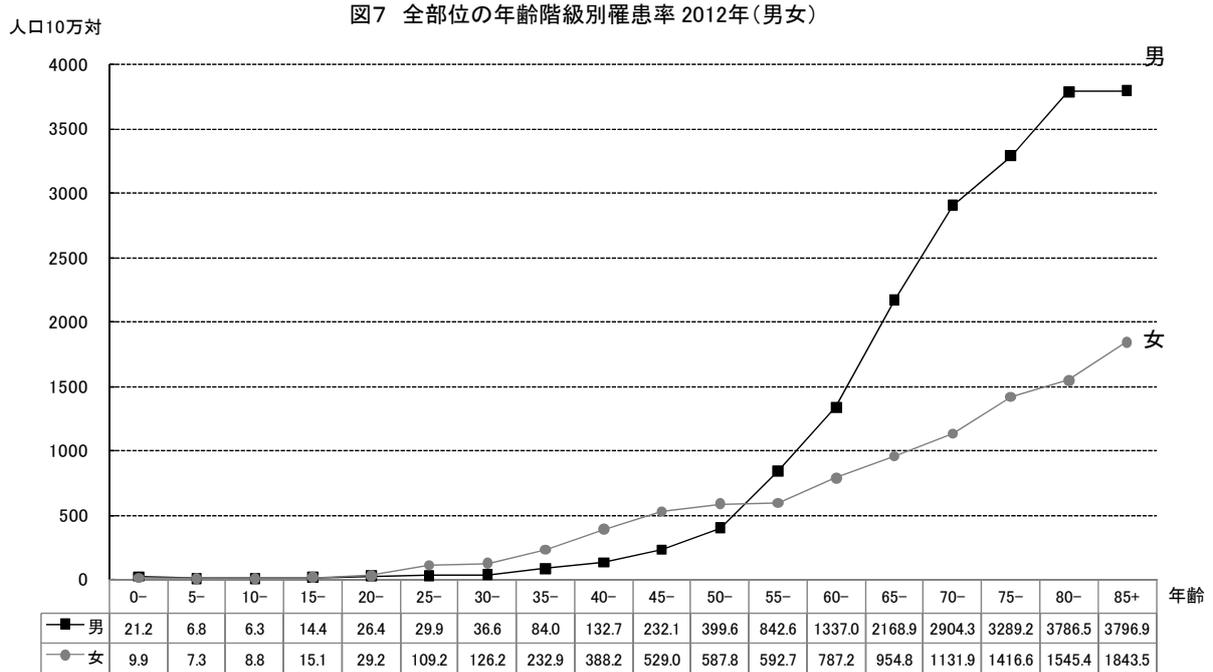


3. 年齢階級別罹患率

(1) 全部位の年齢階級別罹患率

全部位の年齢階級別罹患率を男女別に示した（図7）。

男女ともに年齢が高くなるにつれ、がん罹患率が高くなっている。男の罹患率は50歳を過ぎる辺りから急増する傾向にあり、年齢が高くなるにつれて男女の罹患の比率の差が大きくなっている。



(2) 特定部位別の年齢階級別罹患率

特定部位の年齢階級別罹患率を男女別に示した(図8、9)。

男は50歳台からいずれのがんも罹患率が増加している。肺がんと胃がんの罹患率は70歳台を超えても上昇している。

女では乳がんの好発年齢である40~60歳台までの罹患率が高くなっている。また、子宮がんの罹患率は子宮頸がんの好発年齢とされる20~30歳台から増加して、30~40歳台にピークになっている。

図8 年齢階級別罹患率 2012年 <特定部位> -男-

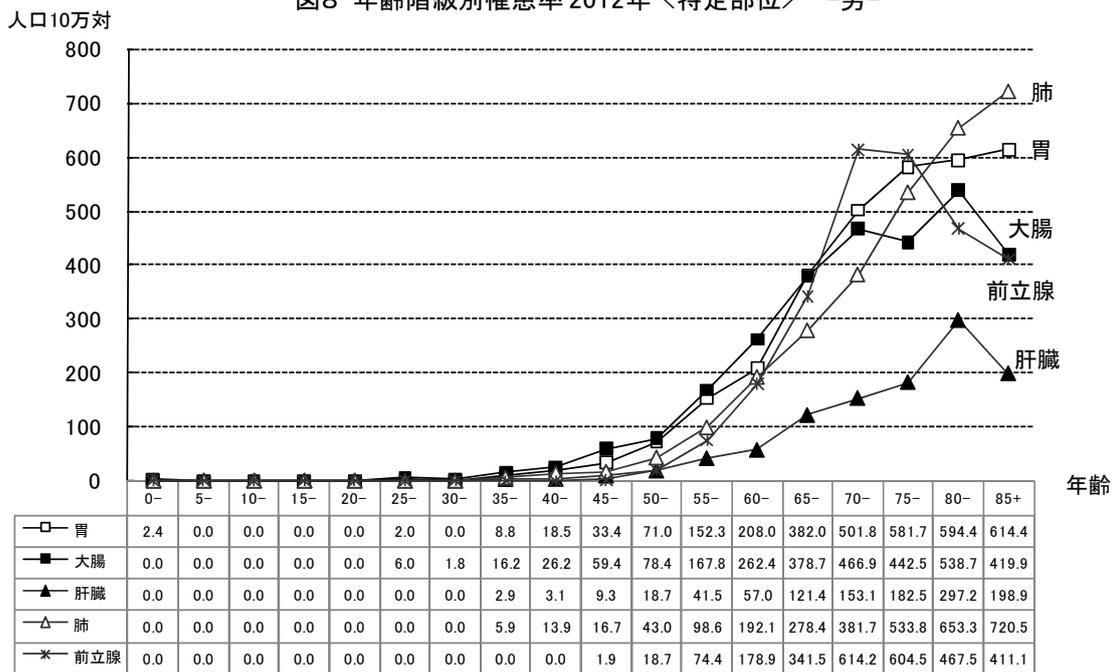
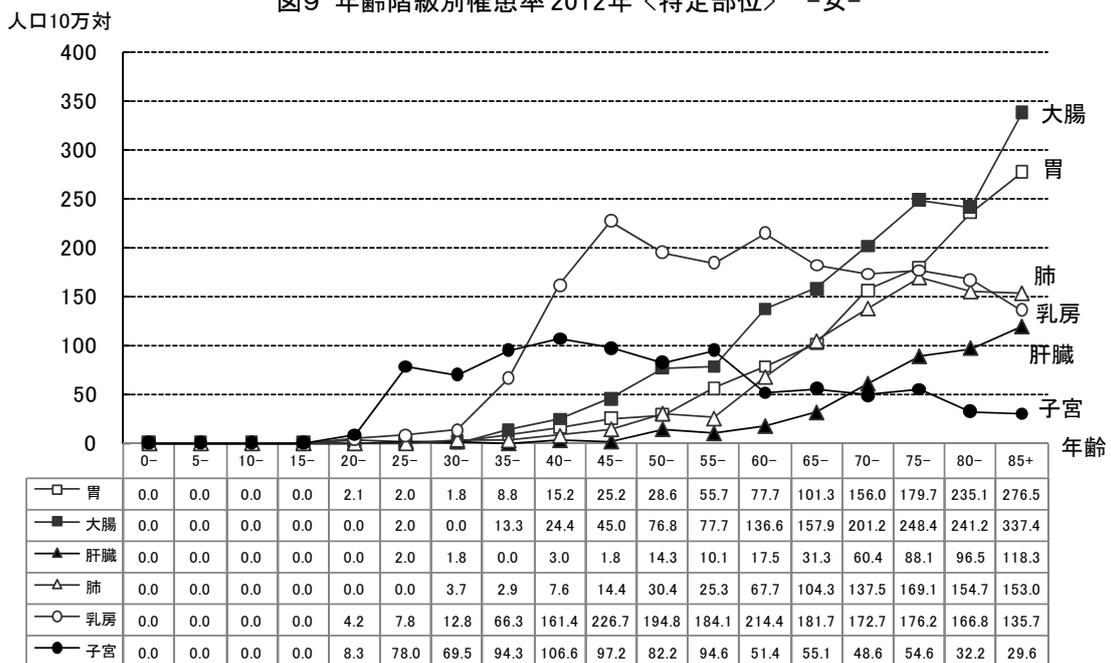


図9 年齢階級別罹患率 2012年 <特定部位> -女-



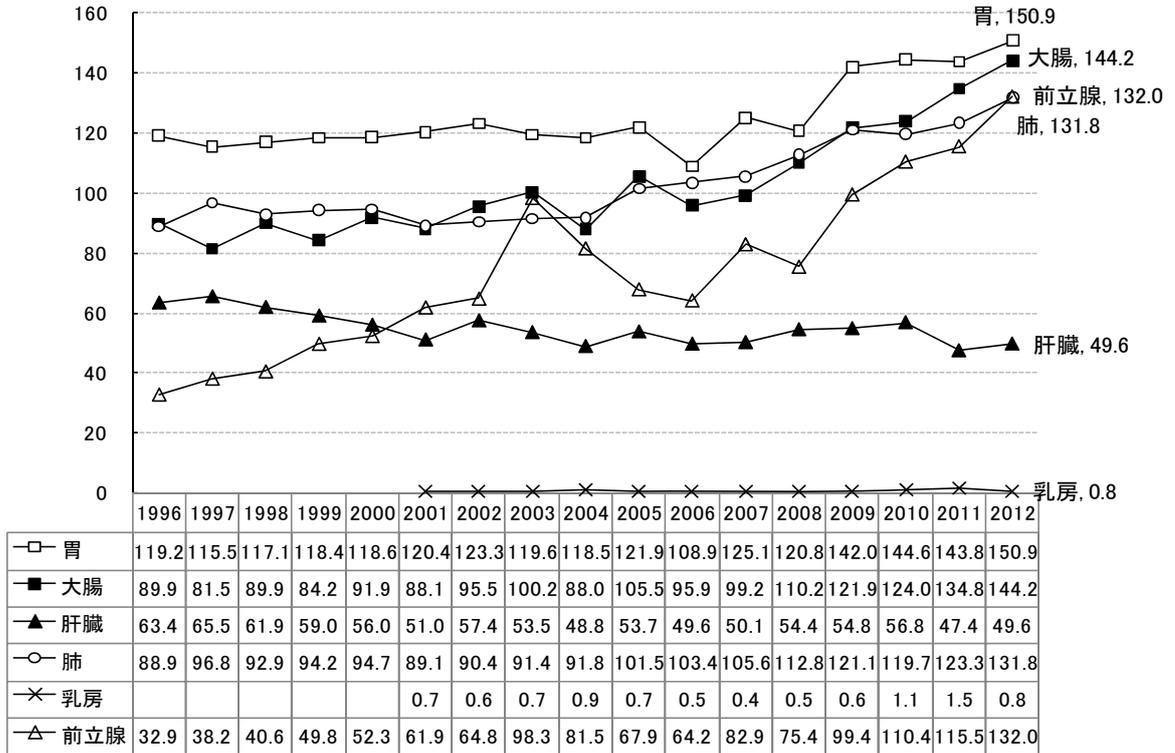
4. 男女別の主要部位別罹患率の年次推移

男の主要部位別罹患率の推移を粗罹患率と年齢調整罹患率とで示した（図10、11）。

年齢調整罹患率をみると大腸がん80.1、胃がん78.8が他の部位に比べて高く、2006年以降上昇傾向にあり、大腸がんは2011年から1位となっている。

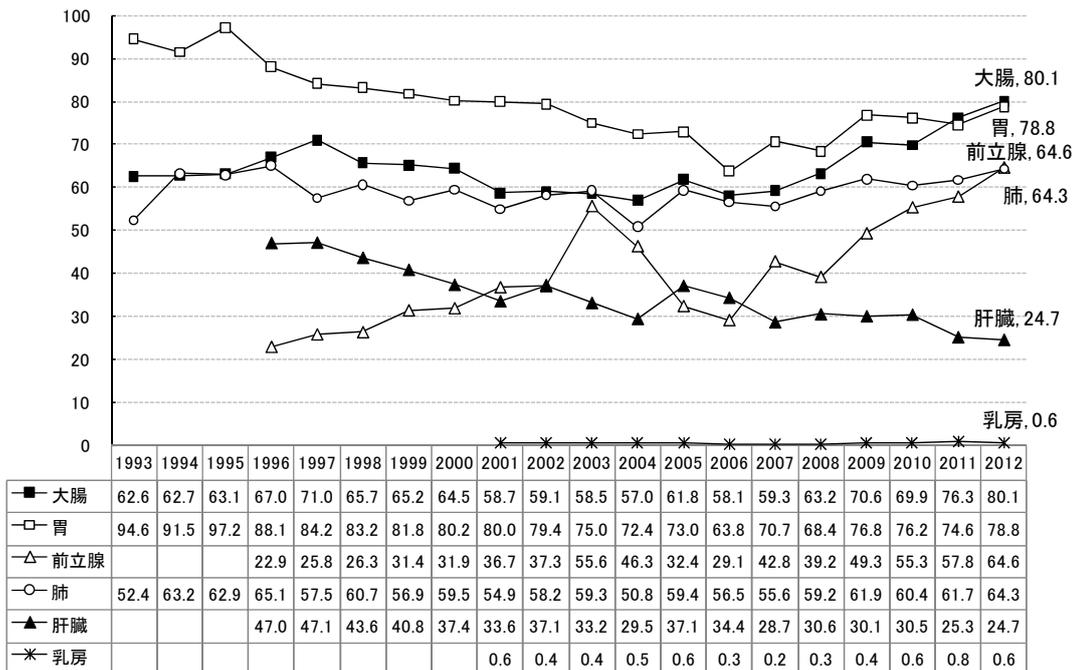
人口10万対

図10 粗罹患率の年次推移—主要部位別、男



人口10万対

図11 年齢調整罹患率の年次推移—主要部位別、男



女の主要部位別罹患率の推移を粗罹患率と年齢調整罹患率とで示した（図12、13）。
 年齢調整罹患率を見ると年次をおって乳がんの罹患率が高くなっており、2012年は人口10万対86.4と他のがんと比較すると圧倒的に高くなっている。

人口10万対 図12 粗罹患率の年次推移—主要部位別、女

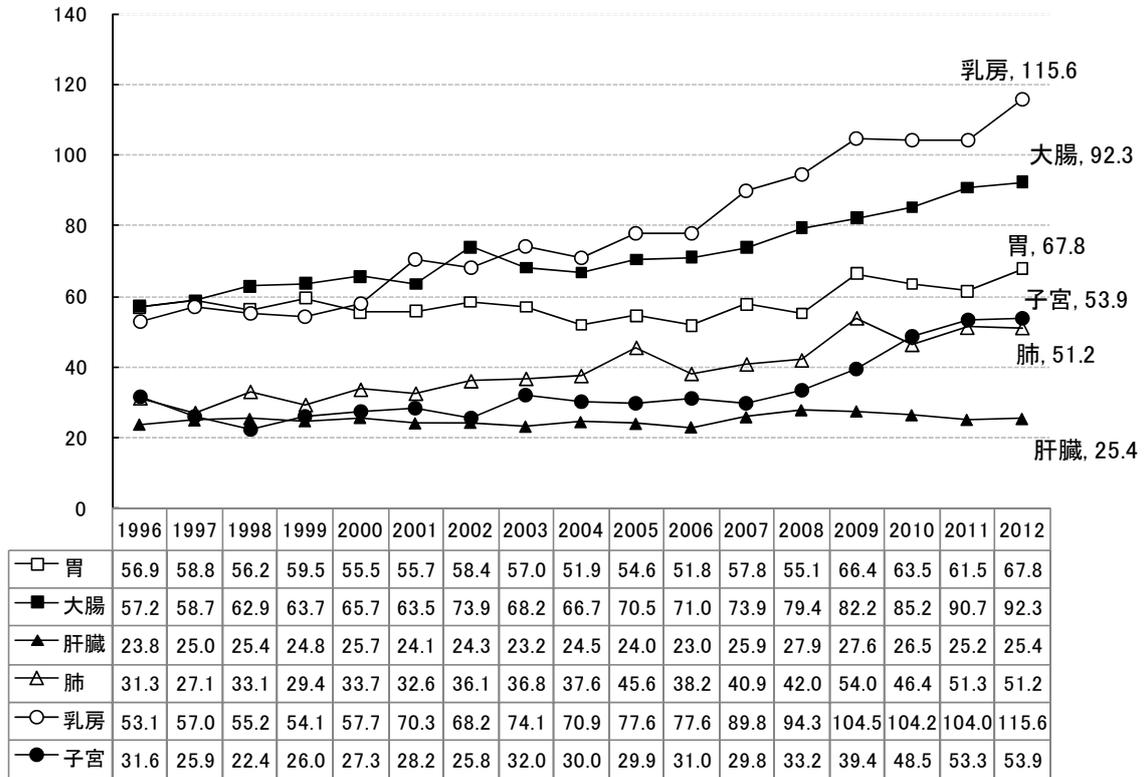


図13 年齢調整罹患率の年次推移—主要部位別、女

